

【要 旨】

■この提言書で伝えたいことは、貿易・サービス収支の改善の必要性とそのための方策

○経常収支悪化はわが国経済の問題を反映している

- ・ 最近の貿易・サービス収支は赤字基調で推移しており、経常収支も黒字幅が縮小、将来的に赤字へ進行する恐れがある
- ・ 最近の経常収支の変化の背景には、巨額の財政収支赤字と、産業空洞化の進行・産業構造転換の遅れがあり、大きな問題をはらむ
- ・ 財政赤字問題の重要性を認識しつつ、まずは貿易・サービス収支の改善を徹底する必要がある

○貿易・サービス収支の悪化は多様な要因がもたらしている

- ・ 世界経済の成長鈍化で世界の貿易量が伸びていない
- ・ 輸出が以下の要因によって伸びていない
 - ① 円安状況下でも企業は外貨建て価格を下げおらず輸出数量が増えていない
 - ② 製造業企業の海外生産シフトが進み、輸出が海外生産に肩代わりされて増えない
 - ③ 新興国のキャッチアップで、電気機械産業などを中心に海外市場で苦戦している
- ・ 円安と原発の停止等でエネルギー資源輸入額が増加している

■貿易・サービス収支の改善のための具体策について、企業の努力、中部圏にできること、政府等への要請の形でとりまとめた

<提言群1> 企業の競争力を高め輸出を増やす経済体質をつくる (いかに付加価値の高いものを売るか、いかに高い価格で売るか)

- | | |
|-----------|--|
| 企業の努力 | <ol style="list-style-type: none">① ビジネスモデルを変革し、知財戦略・標準化戦略を強化する② 国内投資で競争力を磨く③ 新興国と競合しない製品の開発、製品の非価格競争力の強化を進める④ 輸出品の国内での付加価値額を向上させる⑤ 企業の財務力、体力を増強するための企業間の組織再編を進める |
| 中部圏にできること | <ol style="list-style-type: none">① 非価格競争力を高める② 事業拠点の国内維持、拡充を進める③ 効率的な研究開発、製品開発を進める④ eEXPO/Linkers を使ったビジネスマッチングを促進する⑤ 材料に関する先端的研究開発を推進する |
| 政府等への要請 | <ol style="list-style-type: none">① ドイツのインダストリー4.0 に学ぶ国を挙げた産学官連携プロジェクトを推進すべきである② 日本全体でビジネスマッチングを促進する仕組みを強化すべきである③ 各地域ブロックにおいてイノベーションハブ機能を形成すべきである④ 国家戦略的な産業クラスターにはマッチングファンド方式で半額の国費を投入すべきである⑤ 「京」を上回る超高速コンピューターを開発すべきである⑥ 中堅・中小企業の輸出や新規事業開発を支援すべきである⑦ 企業の組織再編を進めやすくする制度環境を整備すべきである⑧ 知的財産権保護に関する国際条約の的確な履行を求めるべきである⑨ 経済連携協定等の輸出環境の整備を推進すべきである |

<提言群2> 新たな輸出産業を育成し輸出を増やす経済体質をつくる (新興国と競合しない新たな輸出産業の育成)

- | | |
|-------|---|
| 企業の努力 | <ol style="list-style-type: none">① 農業の6次産業化、輸出産業化を進める② 社会インフラを輸出産業として成長させる③ 巨大システムの開発能力を輸出産業として成長させる④ 航空機を輸出産業として成長させる⑤ 医療・介護機器等・医薬品を輸出する⑥ 日本式のきめの細かいサービス産業の海外展開を進める⑦ クールジャパン関連産業、マルチメディアコンテンツ産業を成長させる |
|-------|---|

- | | |
|-----------|---|
| 中部圏にできること | <ol style="list-style-type: none">① 中部の次世代型リーディング産業の輸出競争力を強化する② 農商工連携により「食材の製造業」を創造する③ 海外マーケットの嗜好に合わせた農水産品の開発を進める④ 観光と一体化した地域特産品の輸出拡大を図る |
|-----------|---|

- | | |
|---------|--|
| 政府等への要請 | <ol style="list-style-type: none">① 農業分野の規制改革を図るべきである② 医療機器や再生医療等製品の認証制度や保険適用の洗練を図るべきである③ 航空機における認証制度の欧米との相互承認を図るべきである④ わが国の食の安全性の高さを海外へアピールすべきである⑤ 輸出品の日本ブランドの向上を促進すべきである |
|---------|--|

<提言群3> 観光産業を振興し観光で稼ぐ経済体質をつくる(サービス収支の改善)

- | | |
|-----------|--|
| 企業の努力 | <ol style="list-style-type: none">① 海外の人々の関心を日本に向けさせるよう情報発信に努める② 観光資源を開発する③ 訪日のきっかけ・機会を創造する④ 良質の集客施設・スポットを整備する⑤ 訪日客の利便性の向上を図る⑥ 訪日客へのホスピタリティの向上を図る⑦ 観光産業事業者間のネットワークを緊密にする⑧ 外国人観光客の積極誘致活動を進める⑨ 新たな観光コンセプトを開発する |
| 中部圏にできること | <ol style="list-style-type: none">① 昇龍道プロジェクトを推進する② イベントのショーアップ、誘致、開発に努める③ 観光コンセプトを具体的に開発する④ 中部圏の空港や港湾の機能を高める |
| 政府等への要請 | <ol style="list-style-type: none">① 政府による観光プロモーションを強化すべきである② 訪日客の利便性、快適性、安全性に関する政府所管の措置の推進③ 訪日客の多様性に対応した観光環境を整備すべきである④ 中部圏に観光に関する特区を創設すべきである |

<提言群4> 内外企業の国内立地を促進する立地環境をつくる(海外生産シフトへの対応)

- | | |
|-----------|--|
| 企業の努力 | <ol style="list-style-type: none">① 競争力を国内投資で磨く努力をする② 中小企業を含む国内生産機能の維持、伝承、保全を図る |
| 中部圏にできること | <ol style="list-style-type: none">① 次世代のものづくり産業を育成する② グレーターナゴヤイニシアチブ(GN I)を一層推進する③ 産学の連携推進を強化する④ 特区制度を活用して内外の企業の事業拠点を誘致する |
| 政府等への要請 | <ol style="list-style-type: none">① 国内でのマザー工場の維持・拡充を促すべきである② 海外企業の日本国内への投資を呼び込む制度を整備すべきである③ 中堅・中小企業の経営革新を支援すべきである④ 中部圏への特区の設置を図るべきである |

<提言群5> 省エネや資源リサイクルによって資源節約型の経済社会をつくる (エネルギー資源の輸入増への対応)

- | | |
|-----------|--|
| 企業の努力 | <ol style="list-style-type: none">① 省エネを推進する② 国内資源のリサイクルを進める |
| 中部圏にできること | <ol style="list-style-type: none">① 資源リサイクル技術を開発する② 中部圏に広域資源循環(リサイクル)社会を形成する③ 水素社会に向けた取り組みの促進と燃料電池車(F C V)の世界への普及を図る |
| 政府等への要請 | <ol style="list-style-type: none">① 原発の早期再稼働を図るべきである② エネルギー効率の高い社会づくりを進めるべきである③ 国産エネルギー(メタンハイドレートなど)を開発すべきである④ 国内リサイクル資源の有効活用的高度化を図るべきである⑤ 水素ステーションの普及を図るべきである⑥ 家庭用燃料電池の経済性向上を図るべきである⑦ 省エネ意識の徹底に向けた国民運動を推進すべきである⑧ 中部圏に省エネや環境技術に関する特区を創設すべきである |

以上